

Title	企業のスポーツ支援活動と株主価値に関する研究
Sub Title	
Author	宮崎, 浩次郎(Miyazaki, Kojiro) 高橋, 大志(Takahashi, Hiroshi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2586号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2586

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

80931136

宮崎 浩次郎

主査

副査 1

副査 2

高橋 大志

小幡 績

井上 光太郎

研究テーマ

企業のスポーツ支援活動と株主価値に関する研究

内容の要旨

本論文は企業のスポーツ支援活動、特にオリンピックへの協賛という観点から分析を行い、スポーツ支援活動を行う企業の動機と効果、ひいては株主価値に対してどのような影響を与えているのかを確認することを試みたものである。

近年の経済不況に伴い、コスト削減を目的として自社の持つクラブチームや部活動を休部・廃部にする企業が増加している。このような環境の下、企業がスポーツ支援を行う意義についての議論が高まっており、企業がより効率的で優れた経営を行うためにもスポーツ支援の意義を明らかにすることは重要である。

このような問題意識を背景として、本研究では、最も広く知られたスポーツイベントのひとつであるオリンピックに焦点をあて、オリンピックへの協賛と株主価値の関係という観点から分析を行った。分析の進め方としては、「オリンピックへ協賛することは株主価値を高める」という仮説を立て、実証分析を通じ、その検証をおこなった。さらに、本研究では、オリンピック協賛企業の財務内容、およびスポーツ支援と関係の深いCSRを考慮した分析を行い、オリンピック協賛企業の特徴および、協賛の動機についても考察を試みた。

分析の結果、(1) オリンピック協賛企業の中でも、長期に渡って協賛している企業の株価収益率は、リスク調整後においてもプラスの収益率を獲得していること、(2) オリンピック協賛時の企業の特徴として、高業績で成熟した企業が多いこと、その一方で、(3) CSR に対して特別積極的な企業ばかりではないことなどの興味深い現象を見出した。これらの結果は、オリンピックに長期協賛することと株主価値を高めることの間に関連性があることを示唆するものである。

今後の課題としては、(1) 長期協賛企業に表れている超過収益 (α) の要因に関する詳細な分析 (2) 本研究の対象外である非上場企業の分析、(3) オリンピック開催前後に表れる株式の超過収益 (α) が大会ごとに大きく変動する要因の探

求、(4) オリンピック協賛の動機に関するより詳細な分析などが挙げられる。